

## 欠席委員からのご意見

### ○ 高杉千賀子委員

- ・ 河川は行政が管理するという意識ではなく、地域住民が、自分たちが守り育てていくという意識を持つことが大切である。そのためには、河川を身近に感じる必要があり、子どもの時から学校教育なども通じて河川清掃や自然体験活動等の川に接する機会を増やすことが大切である。地域の方々も、子どもたちの活動をサポートすることで元気をもたらしている。継続して活動を行うことが重要である。
- ・ 太田川水系河川整備計画（案）（案）については概ね了解。
- ・ 太田川水系河川整備計画（案）における治水と環境の費用便益分析については了解。

### ○ 永井明博委員

- ・ 太田川水系河川整備計画（案）（案）については概ね了解。
- ・ 太田川水系河川整備計画（案）における治水と環境の費用便益分析については了解。

○福田由美子委員

- 住民の太田川に対する関心が少ないことが課題である。例えば、治水でいえば整備の進捗と住民の安全に対する意識の向上が重なることで地域の安全が守られる。住民の太田川に対する関心を高めるためには、河川管理者だけではなく、より住民の立場に近いNPO、市民団体等と連携することが必要である。また、NPO、市民団体等との連携については、地方公共団体が河川管理者との橋渡しを行えばよいのではないか。
- 太田川水系河川整備計画（案）（案）については概ね了解。
- 太田川水系河川整備計画（案）における治水と環境の費用便益分析については了解。